

車から降りるときも交通マナーを大切に

重点地域に指定された市の中心部（国際通りから佐世保駅前付近まで）を、週に2度見回っています。

週2回見回っています



違法駐車にチラシを挟む駐車指導員

交通安全に一役
駐車指導員
違法駐車は、交通事故や交通渋滞の原因になるばかりか、救急車や消防車など緊急車両の通行の障害になることがあります。
また、歩道上に駐車すると歩行者の障害になり、特に点字ブロック上の駐車は目の不自由な人には大変危険です。
市では、平成6年10月から違法駐車を防止するため、重点地域を指定し、市から委嘱された駐車指導員が助言、啓発活動を行っています。

違法駐車を見つけたら、運転者が乗っている場合は口頭で移動を呼び掛け、運転者が乗っていない場合は移動を促すチラシ（写真左）を、車のワイパーとフロントガラスの間に挟みます。



取り締まりではありません

駐車指導員は、警察官とは違ひ法令上の権限はなく、あくまで違法駐車をしないように協力をお願いしています。
しかし、いつも違法駐車している常習的な違反車両や、助言・指導に対して脅迫的な言動があった場合など悪質なものは、警察に取り締まりを要請します。
皆さんのご理解とご協力をお願いします。

お尋ね 市役所交通安全対策課
(☎ 241-1111)

人も車も道路は 広く使えるように
駐車指導を始めたころは、違法駐車をしている人に、駐車場の地図を渡して移動するよう助言していました。今では地図に掲載している駐車場が無くなっていたり、新しく駐車場ができたりして地図が実態と違ってきただけで、地図を渡すことはしていません。
駐車指導をする時、だいたいの人は聞き入れてくれますが、中には一言二言文句を言う人もいます。以前に比べると重点地域の違法駐車は減りましたが、まだまだ徹底したとは言えません。
私たちが目指すところは、人も車もお互いに道を広く安全に利用できることです。



田端幹人さん（72歳）

佐世保地区地域交通安全推進協議会、佐世保市駐車指導員協議会の会長として、交通安全活動を続けている田端幹人さんにお話を聞きました。

信号が赤になったら停止を

交通マナーが良くないと感じるときは、信号を守らない人を見たときです。
信号が赤になったらばかりのときに、止まらずに進んでいく車や、横断歩道で渡っていく人を見掛けることがあります。

子どもは、だいたい信号を守っていて、交通マナーは良いと思います。
皆さんのマナーが良いところは、シートベルトの着用率が高いという事です。
長崎県は全国でもシートベルトの着用率が高く、佐世保も例外ではありません。

後部座席のシートベルトや、チャイルドシートの着用率も上がればもっと良いと思います。

みんなの交通安全教室

みどり保育園

市では、幼少時から交通安全意識を高めることを目的に、市内の幼稚園や保育園などで幼児交通安全教室を実施しています。



指導員の呼び掛けに元気良く返事をする園児たち



みんなで楽しく学びます

幼児交通安全教室は市から委嘱された交通安全教育指導員が、依頼のあった幼稚園や保育園などに出向いて開催しています。
「歩道の歩き方」「雨の日に傘を差したときの注意」「信号や横断歩道の渡り方」「バスの乗り降り」などについて学びます。
吉岡町のみどり保育園では、園児たちが信号や横断歩道の渡り方について、楽しく学びました。

青は「ドラえもん」

「赤は止まれ、青は進んでも良い、黄は注意して止まる」、大人にとっては分かっていることでも、園児たちには分かりやすく教えるいと理解してもらえませんか。
そこで、赤は「りんご」、青は「ドラえもん」、黄は「ピカチュウ」というように、園児たちみんなが知っている果物やテレビアニメの主人公の絵を見せて、信号の色を分かりやすく教えています。
ほかに横断歩道の信号の絵をクイズにしたり、指導員がわざと間違ったことを言って誤りを正してもらうなど、園児たちが飽きないように工夫して教えていました。



クイズ形式で信号について楽しく学びました



タンバリンに合わせて

横断歩道の渡り方では、タンバリンを使ってリズムを取りながら渡り方の練習をしました。



横断歩道の渡り方について学ぶ園児たち

たんたんのおやくそく

たん・たん・たん
みぎをあげて
みぎをみて
ひだりをみて
もういっかいみぎをみて
くるまがとまったら
わたります。



タンバリンに合わせて横断歩道の渡り方の練習をしました

お父さんお母さんは 信号を守っていますか？

指導員が園児に「お父さんお母さんは、信号を守っているかな？」と問い掛けていました。
幼児交通安全教室は子どもたちだけのものではありません。子どもにも交通安全を教育することで、親子一緒になって交通ルールを守ってもらおうという狙いがあります。
「このくらい大丈夫」と思って信号無視をすると、子どもたちが見ているかもしれません。

歩道の上に乗りに上げて駐車している車は、歩行者の障害になり、時々市民から苦情を聞くこともあります。また、交差点付近の駐車は危険ですし、渋滞の原因にもなります。
皆さんが、お互いを思いやり、道を広く利用しようとする意識を持ってくれたらと思います。